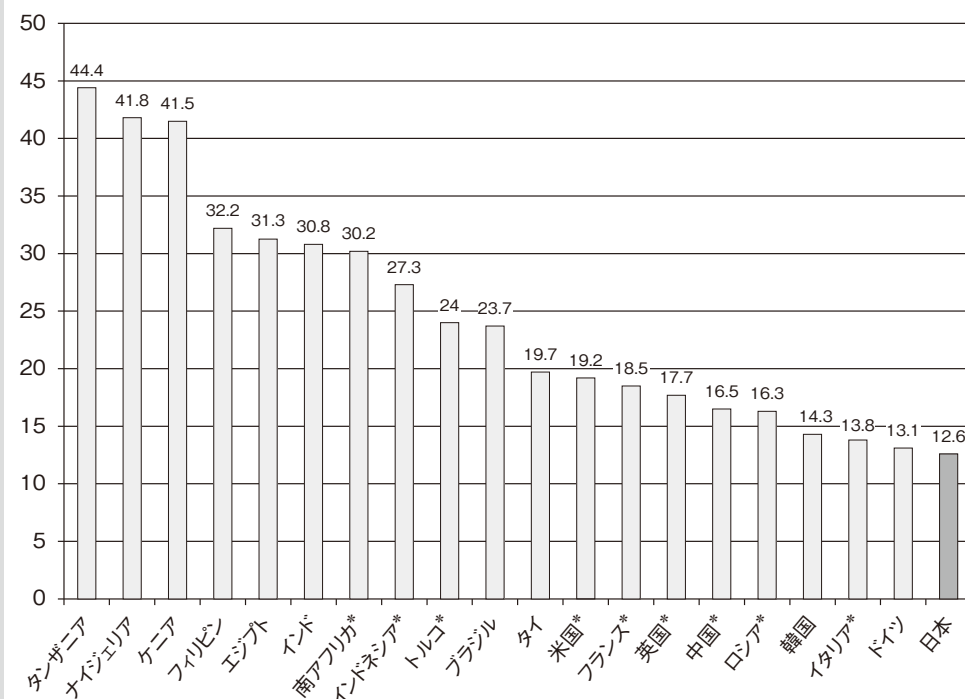


各国の子どもの割合



総務省統計局によると、日本の子どもの割合（総人口に占める15歳未満の割合）は、1950年（昭和25年）に総人口の1/3を超えていたが徐々に減少し、2016年（平成28年）4月1日現在12.6%である。1975年（昭和50年）から42年連続の低下となった。また、諸外国と比較してみると、調査方法や調査年次に若干の相違があり厳密ではないものの、子どもの割合は日本が最も低い。

「国連人口統計年鑑」（2014年版）より作成。人口4,000万人以上の国より抜粋。*は総務省統計局調べ